



博物館だより

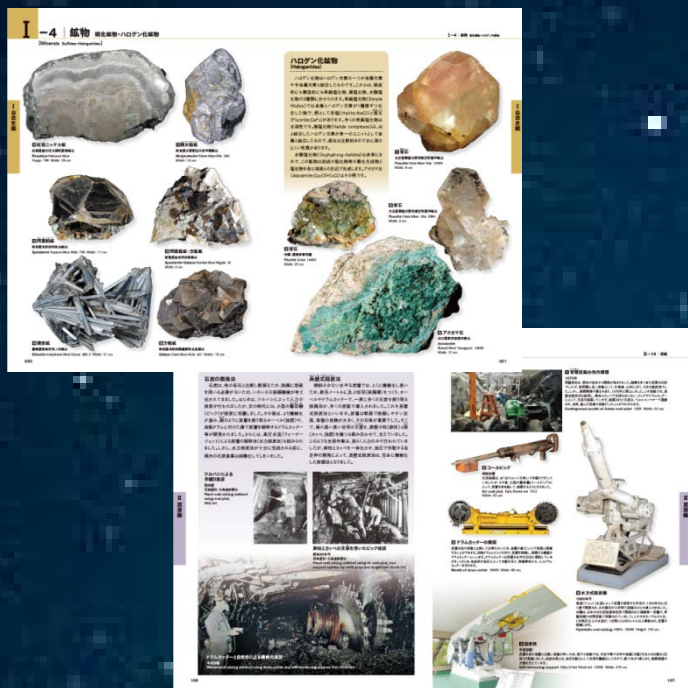
No. 226 2014.2

# ミニミニマイنز

## 待望の鉱業博物館解説書 3月3日発売

鉱業博物館  
解説書

# 鑛こう のきらめき



鉱業博物館 売店にて 3月3日(月)より販売  
フルカラー版 128頁 1,430円(5%税込)

この度、鉱業博物館100年に渡る歴史の中で初めて、当博物館で展示している標本を詳細に解説した本を発売することとなりました。フルカラー版128ページ、価格は1,430円、当館ミュージアムショップで発売いたします。

### 貴重な資料

当博物館では、秋田大学の長年における研究活動において集められた地質や鉱業に関連した資料を展示しております。学術的にも貴重な資料を後世に伝える私たちの役割の一環としてだけでなく、一般の方はあまり触れ合う機会のない鉱業を広く知ってもらうため、今回の発売へと至りました。

### 鑛のきらめき

タイトルである「鑛のきらめき」の「鑛」は、「鉱」の旧字体です。1961年に当博物館が設立された際設置された、鉱業博物館入り口の門構えにある看板も、この「鑛」の字を用いています。鉱物は、大体は私たちの身の回りにあふれる何の変哲もない、無機質なものです。しかし鉱物は古くより私たちの生活を支え、向上させてきた人類発展の立役者です。その内に秘めた輝きを皆さんに知って頂きたいという思いから、「鑛のきらめき」というタイトルを付けての販売に至りました。

### 展示に沿った解説

当博物館の展示は様々な色とかたちの鉱物・鉱石、珍しい岩石や化石を見ながら、地球の歴史や資源の生成について学び、実物の鉱山設備機械・模型から、資源開発の流れと鉱山技術を系統的に学ぶことが出来るような展示の流れとなっています。その流れを汲み、解説書の構成は始まりのページが館内展示の始まりとリンクしており、歩きながら読み進めると展示をより深く知ることが出来るようになっています。

### 楽しめるレイアウト

皆様と触れ合う機会の少ない学問であることからこそ、見ているだけでも楽しめるようなレイアウトに構成しました。さらに、実際の展示のさらなる解説はもちろん、新たに図表を用い、より展示の理解が深まるよう解説してあります。

3月3日月曜日より、鉱業博物館売店にて販売いたします。1910年の秋田鉱山専門学校設立から続く鉱業博物館の歴史と知識を、本書とともに実感して頂ければ幸いです。

博物館前への花の植  
え付け作業の様子。  
綺麗な風景の中散歩  
される方が大変多く、  
憩いの場となってい  
ます。



講習会の様子。  
博物館の展示について、  
専門家である館長から  
丁寧な解説を受けてい  
ます。

鉱業博物館では、平成26年度サイエンスボラン  
ティアを募集しています。

今年度もたくさんのサイエンスボランティアの  
方々が博物館における活動の様々な面で強かにサ  
ポートしてくださいました。豊富な知識を生かした  
展示案内や、小中学校など団体見学時のサポート、  
プランターの植え付けなど、当博物館の顔としてい  
つも活動してくださっています。

博物館が好きで何かに関わってみたい、人と接す  
ることがしたい、手先が器用など特技を生かしたい、  
社会貢献・生涯学習活動がしたいなど高校生以上  
の方であれば性別・職業を問わずどなたでもご参加  
いただくことができます。

ボランティア活動のサポート体制も充実していま  
す。当博物館所属の秋田大学教員・研究員が、博物  
館や標本のことをわかりやすく解説する講習会や、  
関連施設や野外に出かけての研修会などを開催して  
います。得意な分野で、できる範囲で、あなたの能  
力を公の場で生かしてみませんか？

平成26年度サイエンスボランティアを募集しています

募集要項

活動内容

見学者への案内と説明  
見学者への見学サポ  
ート  
館内整備等のサポ  
ートなど

活動期間

1年間

募集対象

高校生以上の方であればどなたでもご参加  
いただけます

募集期間

平成26年1月24日(金)  
～3月28日(金)

申込先

鉱業博物館事務室までご連絡下さい  
(TEL:018-889-2461)



尾去沢へ研修に行っ  
た時の様子。  
坑道や資料館など  
を見学しました。こ  
の大きな銅板は、銅  
精錬の際に使用され  
た電極です。



研修会での昼食会の  
様子。  
鉱山の歴史や裏話な  
どのお話を聞きなが  
ら、院内銀山など他  
の鉱山関係者の皆さ  
んと交流もありました。

第7回鉱業博物館市民向け開放講座

男鹿半島・大瀧ジオパークのいま

平成26年2月20日(水)当博物館3階講堂にて、  
第7回鉱業博物館市民向け開放講座が開催されま  
した。講師は博物館研究員、秋田大学名誉教授で  
ある白石建雄先生でした。今回は「男鹿半島・大  
瀧ジオパークのいま」と題し、男鹿半島・大瀧ジ  
オパークがどんなところなのか、活動内容やジオ  
パークの地域における重要性などについて講演し  
て頂きました。

ジオパークとは、地質学的な遺産と自然・文化  
遺産を結びつけ、その地域の持続的な発展に貢献  
する「大地の公園」です。男鹿半島・大瀧ジオ  
パークは全国33あるジオパークの中で唯一干拓  
地である八郎瀧を含みます。また、ジオパーク内  
に新しい火山を3つ有する他にも、中国や洞爺湖  
などの巨大噴火の噴出物からなる地層をはっきり  
見ることでできる大変珍しいジオパークです。

先生の講座によりジオパークがどういったもの  
であるかを知り、また、地域的遺産の価値・重要  
性に改めて気づかされた講座でした。



講師の白石建雄先生

質問も飛び交い、  
受講者の皆様が積  
極的に参加して下  
された講座となり  
ました。



今回も大勢の方々にご参加頂きました。



講座終了後、ジオパークの解説ビデオが上映されました。